

具体的な選抜方法と、資質・能力との関係【詳細】

看護学研究科(博士前期課程)では、一般入試の他、特別選抜を実施し、多様で特色のある背景を持つ人材の受け入れを目指しています。入学試験では、専門科目筆記試験、面接、英語資格・検定試験等のスコア、研究計画書(実践助産学課程・高度実践公衆衛生看護学課程を除く)、志望理由書(実践助産学課程・高度実践公衆衛生看護学課程のみ)、最終学校成績証明書により、志願者の能力や資質を総合的に評価します。

一般入試

「基礎学力と論理的思考力・表現力」と「国際性・多様性」は、専門科目筆記試験、成績証明書と研究計画書、志望理由書の審査、英語資格・検定試験等のスコアで評価する。「コミュニケーション力」と「社会的責任感・倫理観」および「科学的探究心・自己研鑽」は、面接で評価する。これらにより、各資質・能力をバランス良く有している人材を選抜する。

特別選抜入試

本学看護学部および他学部の卒業見込者を対象とする。「基礎学力と論理的思考力・表現力」と「国際性・多様性」は、成績証明書と研究計画書、志望理由書の審査、英語資格・検定試験等のスコアで評価する。「コミュニケーション力」と「社会的責任感・倫理観」および「科学的探究心・自己研鑽」は、面接で評価する。これらにより、各資質・能力をバランス良く有している人材を選抜する。

2024年4月1日改正